

問1 鎌倉時代において、3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した目的や背景を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2015年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と、貴族などの荘園領主との間で土地をめぐる争いが増えたため、公正な裁判の基準を設ける必要があった。 | 2. 今川義元などの戦国大名が分国法を作ったことに対抗し、全国の武士が幕府に対して絶対的な忠誠を誓うための精神的な規範を示す必要があった。 | 3. 元寇（モンゴル襲来）による出兵で困窮した御家人の不満を解消するため、借金を無償で帳消しにする徳政令の仕組みを全国に広める必要があった。 | 4. 平将門の乱を鎮圧した後が生じた関東地方の混乱を収めるため、貴族の法律である律令を武士にも厳格に適用することを目的とした。 |
|--|---|--|---|

問2 室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地で実力を持った戦国大名が登場しました。彼らが幕府の法律に頼らず、自らの領国を独自に支配し、家臣や民衆を統制するために制定した法律を何と称しますか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|----------|----------|-----------|
| 1. 分国法 | 2. 御成敗式目 | 3. 武家諸法度 | 4. 公事方御定書 |
|--------|----------|----------|-----------|

問3 戦国大名が「分国法」を制定した目的や、その社会的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕府の法に基づく全国統一的な裁判基準を確立し、朝廷の権威を回復させるため。 | 2. 下剋上の世において、家臣同士の私的な争いを禁じ、領国内の秩序を安定させて支配力を強めるため。 | 3. 徳川將軍家への忠誠を誓わせ、大名による勝手な婚姻や城の補修を制限して謀反を防ぐため。 | 4. 裁判の迅速化を図るため、過去の判例を整理して評定衆の裁決の基準を明確にするため。 |
|--|---|---|---|

問4 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した日本最大級の銀山で、2007年に世界文化遺産に登録された場所を次の中から選びなさい。（2016年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石見銀山 | 2. 生野銀山 | 3. 別子銅山 | 4. 佐渡金山 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国内を統治し、家臣や民衆を統制するために独自に制定した法律を何と称するか。（2021年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|--------|-----------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 分国法 | 3. 公事方御定書 | 4. 武家諸法度 |
|----------|--------|-----------|----------|

問6 1543年、九州の南方に位置する種子島に漂着した中国船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. ポルトガル人 | 2. スペイン人 | 3. オランダ人 | 4. イギリス人 |
|-----------|----------|----------|----------|

問7 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある下の者が上の者を倒し、その地位を奪い取るという社会的な風潮を何と呼びますか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| 1. 下剋上 | 2. 惣村 | 3. 寄合 | 4. 下請け |
|--------|-------|-------|--------|

問8 フランシスコ・ザビエルによる日本での活動に関する説明として、最も適切なものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 1549年に鹿児島へ上陸し、キリスト教の布教を始めた。 | 2. 織田信長と会見し、京都での布教と南蛮寺の建設を許された。 | 3. 大名らに勧め、天正遣欧少年使節をローマへ派遣させた。 | 4. 種子島に漂着し、領主の種子島時堯に鉄砲を伝えた。 |
|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|

問9 日本の歴史における主要な出来事を時系列で整理したとき、鎌倉幕府の成立、室町幕府の成立、応仁の乱に続いて、16世紀に発生した出来事としてふさわしいものはどれですか。（2020年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------|-------------|----------------|------------------|
| 1. 種子島への鉄砲の伝来 | 2. 御成敗式目の制定 | 3. 元寇による博多への侵攻 | 4. 日明貿易（勘合貿易）の開始 |
|---------------|-------------|----------------|------------------|

問10 16世紀のヨーロッパで起こった宗教改革の背景やその内容を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|-----------------------------------|
| 1. カトリック教会が資金集めのために販売した免罪符に対し、ルターが抗議の声を上げた。 | 2. 蒸気機関の発明によって生産効率が向上し、資本主義経済が急速に発展した。 | 3. 北アメリカの植民地がイギリスからの独立を宣言し、近代的な民主主義国家を樹立した。 | 4. モンゴル帝国が勢力を拡大し、中国を支配して国号を元と定めた。 |
|---|--|---|-----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と、貴族などの荘園領主との間で土地をめぐる争いが増えたため、公正な裁判の基準を設ける必要があった。	1221年の承久の乱によって鎌倉幕府の支配が西日本まで拡大しましたが、その結果、各地で地頭と荘園領主（公家や寺社）との間で土地管理や年貢をめぐる争いが頻発しました。北条泰時は、武家社会の慣習に基づいた公平な裁判を行うための明確な基準として1232年に御成敗式目を定めしました。これは武家独自の最初の法典であり、後の武家政治の大きな手本となりました。徳政令は13世紀末の永仁の徳政令が有名ですが、御成敗式目の制定目的とは異なります。
問2	答え 1 分国法	室町幕府の支配力が弱まり、各地の守護大名が自らの実力で領地を治める戦国大名へと成長する過程で、独自のルールが必要となりました。これを分国法（または「家法」）と呼びます。鎌倉幕府の御成敗式目や江戸幕府の武家諸法度とは異なり、各大名が自分の領国内だけで適用するために定めたという点が特徴です。
問3	答え 2 下剋上の世において、家臣同士の私的な争いを禁じ、領国内の秩序を安定させて支配力を強めるため。	戦国時代、家臣同士の武力衝突は領国の弱体化につながるため、戦国大名は「喧嘩両成敗」などの規定を盛り込んだ分国法を定め、私闘を禁じました。自らの領地を「一国」として独立して統治しようとする大名の姿勢が、この法の制定に表れています。選択肢にある徳川氏による大名統制は江戸時代の武家諸法度、判例の整理は江戸中期の公事方御定書の説明です。
問4	答え 1 石見銀山	島根県大田市に位置するこの遺跡は、16世紀に博多の豪商らによって本格的な開発が始まり、江戸時代には幕府の直轄地（天領）として重要な財源となりました。良質な銀を大量に産出したことから、東アジアやヨーロッパとの交易において極めて重要な役割を果たしたことが評価され、世界文化遺産に登録されています。
問5	答え 2 分国法	室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地の戦国大名は実力で領土を治める必要がありました。そこで、領国支配を安定させるために独自の法規範である分国法を制定しました。これは、大名の権力を強化し、家臣同士の私的な争いを禁じる役割を果たしました。
問6	答え 1 ポルトガル人	16世紀半ば、東アジアに進出していたポルトガル人が、種子島に漂着した中国船に乗っていたことから、日本に初めて鉄砲がもたらされました。当時の種子島島主であった種子島時堯（ときたか）がこれを買取り、国産化を命じたことで、日本国内での製造と普及が始まりました。
問7	答え 1 下剋上	応仁の乱以降、足利將軍家や守護大名の権威が失墜する中で、各地で実力を持つ者が地位を奪う現象が目立ちました。この言葉は当時の不安定ながらも活力のある社会情勢を象徴しています。
問8	答え 1 1549年に鹿児島へ上陸し、キリスト教の布教を始めた。	ザビエルは1549年に鹿児島に上陸して布教を開始しました。織田信長と会見して京都での布教を許されたのはルイス＝フロイスらであり、少年使節の派遣を勧めたのはヴァリニャーノです。また、鉄砲を伝えたのは1543年に種子島に漂着したポルトガル人商人であり、宣教師ではありません。
問9	答え 1 種子島への鉄砲の伝来	鎌倉時代の御成敗式目制定や元寇、室町時代の幕府成立や応仁の乱を経て、戦国時代に入った1543年にポルトガル人によって鉄砲が伝えられました。これは時系列において、室町幕府が衰退し戦国大名が台頭する時期にあたります。
問10	答え 1 カトリック教会が資金集めのために販売した免罪符に対し、ルターが抗議の声を上げた。	宗教改革は、ルターが「九十五か条の論題」を発表し、カトリック教会の教えではなく聖書の内容こそが正しいとする立場をとったことで始まりました。他の選択肢のうち、産業革命は18世紀後半、アメリカ独立戦争は18世紀後半、元の成立は13世紀の出来事であり、16世紀の出来事ではありません。